

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

# HOKUTO TIMES

医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

42

2015/4



病態の変化に応じた指示内容に対応、  
心電図や血圧の確認など患者さんの観察を十分に行い、  
異常の早期発見に努めています。

Zoom Up!  
Oozuchuo Hospital



【ベッドサイドでの看護】

当院の入院患者さんをお世話する病棟についてご紹介させていただきます。現在、当院には5つの病棟がありますが、各々が違う機能を持って運営されています。

#### <本館5階・東館3階病棟>

病気やケガの発症直後の時期で、治療が必要な患者さんを受け入れる急性期の病棟です。

#### <東館2階病棟>

病気に対する急性期治療が終了し、回復期のリハビリテーションを目的とした病棟です。

#### <本館3階病棟>

病状は安定しているが、家庭や施設に戻るには不安が残る慢性期の患者さんを対象とした病棟です。

#### <本館4階病棟>

病気やケガで重度の障害や後遺症があり、長期間の入院が必要な患者さんを対象とした病棟です。

患者さんの回復過程に沿って病棟が構成されています。例えば、急性期の病棟(本館5階または東館3階病棟)で治療をしていただき、回復すればそのまま退院。病気やケガにより身体の機能が低下した場合は東館2階病棟でリハビリ(注:疾患が限定される)を、治療は終了したがまだ少し療養が必要(注:医師の判断による)な場合は、本館3階病棟に移動していただき、退院後できるだけ自立した生活が送れるように援助しています。

#### 地域のニーズに合わせた病棟の再編成

当院は、昭和48年開院当初から地域における救急病院としての役割を担っており、その病床の全てが一般病床として稼働していました。平成8年から急性期の治療を終えた方で、まだ医療が必要な方への療養病棟を開設し、ケアミックス型に変更しました。

一般病床とは、病気やケガなどで緊急入院するなど、病状が変化する可能性の高い急性期の患者さんを対象とする病床をいいます。医師や看護師などの医療スタッフや医療機器などが充実している反面、入院できる期間が予め決められているので、入院した原因疾患が快方に向かえば退院していただけます。これは、高度な治療を行っている病院ほど短く設定しており、手術を受けた方も同様



医師の病状説明の場に看護師も同席、患者さんやご家族の方に同意の上で治療を受けていただけるように努めています。

Zoom Up!  
Oozuchuo Hospital



【患者さん・家族への病状説明】

です。入院期間を短くするという国の政策ではありませんが、現実には、病気が良くなっても身体の機能が低下し、まだ介護やリハビリが必要な方が多くいらっしゃいます。また、地域の特徴として、年々高齢化が進み一人暮らしの方も珍しくない現在、当院では急性期以外のリハビリや療養のための病棟が必要と考え、平成20年から現在の5病棟に再編成しました。

今号は、急性期病棟の紹介をさせていただきます。

## ◎ 本館5階病棟

### 脳神経外科病棟として、いつでも手術に対応できるよう体制を整えています

当病棟は、32床の脳神経外科(以下脳外科と略す)病棟です。近隣に脳外科の手術ができる病院がないため、救急日だけでなく、365日24時間体制で患者さんを受け入れています。主な疾患は、脳梗塞や脳出血、くも膜下出血などの脳血管障害や脳腫瘍、頭部外傷、てんかんなどです。病気の特徴から、意識障害や言語障害、嚥下障害、運動障害などを起こしやすく、患者さんは複数の障害を抱えられる場合もあります。いつでも入院が受け入れられるようにベッドコントロールを行い、できるだけ速やかに手術の準備ができるよう体制を整えています。



チームカンファレンス

また、脳出血の術後は再出血の可能性があるため、些細な変化を見逃さないように慎重に観察を行います。私たちが変化を見逃すことは、患者さんの術後の機能回復に影響してきますので、常に緊張感を持って業務にあたっています。医師も頻回に診察を行います。病状経過の診断材料として、必ず看護師の観察内容も確認し、総合的に判断されています。

### 患者さん、ご家族とのコミュニケーションを大切にしています

脳外科疾患は、急に発症し、ご本人はもちろんのこと、ご家族も状況を受け入れられないまま入院されるケースが多々あります。私たちは、その不安を少しでも和らげることができるよう「優しさ」と

「思いやり」をモットーに、心を込めてお世話をしています。病気のために、食事や排泄など生理的な行為や日常生活に不自由な方もおられ、ヘルパーと協力しながら看護を行っています。特に当科では、意識障害や失語などで自分の意思をうまく伝えられない患者さんも多いため、全身状態の観察はもとより、コミュニケーションを十分に図り、意思を感じ取り理解を深めながら関わるように心がけています。

### 患者さんの笑顔に元気をもらっています

患者さんは日々「変化」しています。そのスピードは人それぞれで、ゆっくりと時間をかけて一つずつできるようになる方も居られれば、ある日突然「おはよう」と言われたのをきっかけに、どんどん話せるようになる方もいらっしゃいます。この「変化」に立



患者さんと共に喜び、笑顔に癒され

ち会えることが、脳外科領域の看護師としてのやりがいであり、楽しみでもあります。リハビリのため他の病棟に移られた後、歩く姿を見てほしいと訪ねてくださったり、退院のごあいさつに来てくださることもあり、その回復されたお姿や笑顔にいつも元気をいただいています。

## ◎東館3階病棟

### 緊急入院にも対応、幅広い知識を求められています

当病棟は、脳外科疾患以外の患者さんの入院を一手に任される内科・外科・整形外科・泌尿器科の急性期混合病棟です。当院は、土曜・日曜に平常診療、週3日間(金曜・土曜・日曜)二次救急を担当していることから、緊急入院も多く受け入れ



入院決定後は、患者さんの安全・安楽を考え速やかに病棟へ

ています。そのため、救急に関する熟練した看護技術を用いての水準の高い看護実践や、悪性疾患の終末期の看護ケアを行うなど、幅広い知識が求められています。この病棟には、専門的知識を有する救急看護認定看護師も配属されており、看護師への指導、コンサルテーションを行うと共に、看護師一人ひとりが、治療の最前線であることを自覚し、自己研鑽に努めています。糖尿病看護については、愛媛糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師が、入院中の患者さんを訪問して療養指導を行うことで教育入院の効果が上がり、外来での継続看護に繋がっています。

### 多職種と連携をとり、スムーズな入院と退院に向けての地域・在宅への支援

当院は、診療体制上から入院患者の殆どの方が緊急入院です。日頃から、いつ入院があっても対応できるように、ベッドコントロールが必要です。そのため、入院時より地域連携室と情報交換、1週間以内に多職種とのカンファレンスを行い、治療方針や退院に向けて必要な支援について早期から検討しています。地域には、一人暮らしの高齢者の方も多く、病気が良くなり自宅へ帰りたと思っても、日常生活で誰かの援助が必要なため、なかなか退院できないという方もいらっしゃいます。私たちは、そういう方々が地域での支援を受け

ながら住み慣れたご自宅へ帰れるように、地域連携室と協働し、その手段を一緒に考え環境を整えるお手伝いをしています。



看護師とヘルパーが協力してケアを実施

### 看護師とヘルパーが協働し、質の高い看護が提供できるよう努めています

急性期では、医療の高度化・複雑化に伴い、看護師の業務も増大してきます。当病棟では、ヘルパーと協働して、各々が専門性を発揮しながら、看護の質を落とすことなく、患者さんに快適な療養生活を送っていただくように努めています。看護師はもとより、ヘルパーも定期的な研修会に参加し、介護技術を磨いています。今後も、急性期病棟として救命・救急の役割を果たすべく、救急看護の知識・技術の向上と共に、患者さんに寄り添う温かい看護・介護ケアが行えるよう自己研鑽に努めます。

からだに効く  
**レシピ**  
4

Point  
型から外すときは冷めてから!  
季節の果物を添えて盛りつければ彩り良く華やかに。

大洲中央病院栄養科

ふんわり焼き上げた、チョコの香りいっぱいの一品です。お試下さいませ。

## ショコラシフォンケーキ

### ■材料(17cm型1個分)

- A
- ホットケーキミックス… 80g
  - ココアパウダー…………… 10g
  - チョコレート…………… 1枚60g
  - 卵(Mサイズ)…………… 4個
  - 砂糖…………… 50g
  - サラダ油…………… 50g
  - (飾り用)
  - 生クリーム…………… 適量
  - チョコレート…………… 適量

### ■作り方

- ①オーブンを170℃に温め、Aをふるいにかける。
- ②卵黄と砂糖の半量を合わせ、泡立て器で混ぜる。
- ③チョコレートを湯煎する。
- ④②に③を加え、サラダ油を混ぜる。
- ⑤④にAを入れよく混ぜる。
- ⑥別のボウルで卵白を泡立て、砂糖を加えメレンゲを作る。
- ⑦⑤を④に2回に分けて加え混ぜる。
- ⑧型に⑦を入れオーブンで約25～35分焼く。竹串をさし生地がつかなければOK。型を逆さまにし、冷まして型から外せば出来上がり!



## すぐそばにある絵画 院内美術館 12



優姿離

遊旃延

『釈迦十大弟子二菩薩(優姿離、遊旃延)』  
棟方志功 作

## “世界のムナカタ”と ならしめた全12点の大作

棟方志功の代表作であり、二菩薩と、釈迦10人の高弟の姿を彫った『釈迦十大弟子二菩薩』。全12点からなるこの作品を6回に分けてご紹介しています。2回目となる今回は、1Fエレベーター横にある「優姿離」と「遊旃延」です。棟方の真骨頂である白と黒の絶対的対比からなる力強い版画を、ぜひ一度ご覧ください。



棟方志功(むなかたしこう) / 1903年青森県生まれ。 / 1956年ヴェネツィア・ビエンナーレ国際版画大賞受賞

次号は棟方志功『釈迦十大弟子二菩薩(全十二点)』より「須菩提、富樓那」をご紹介します。

## 新任医師紹介

平成27年4月より大洲中央病院で勤務させて頂くことになりました脳神経外科の藤原です。平成11年に愛媛大学を卒業し、大学病院・県立中央病院・香川県の松井病院・市立宇和島病院・済生会松山病院等で勤務し、今回こちらでお世話になることとなりました。

大学院時代には手術をしても治らない悪性脳腫瘍の研究をしておりましたが、臨床の現場では脳血管障害に強い興味があり、重点的に力を入れて頑張ってきました。また、脳神経血管内治療や神経内視鏡治療など、脳外科の歴史の中でも比較的新しい分野に関しても興味があり、それぞれ専門医・認定医を取得しております。これらの技術を生かし、大洲エリアの医療に少しでも貢献できたらと思います。

趣味としてテニス・マラソン等もやっておりましたが、最近全くやらなくなり腹も出してきました。この自然豊かな大洲で趣味も再開し、メタボ体型も改善したいと思います。今後ともよろしくお願いたします。



脳神経外科医  
藤原 聡

## リスクマネジメント研修の開催

3月5日に、西予市立野村病院院長の守田人司先生を講師にお招きし、「安全な医療のためのノンテクニカルスキル」についてご講義いただきました。安全な医療を提供するためには、テクニカルスキル(専門的な知識や技術)だけではなく、ノンテクニカルスキル(コミュニケーションやチームワーク、リーダーシップ等)が必要であることを学び、個人だけでなくチームとして安全を守ることの重要性を再確認しました。また、3月12日には、医療安全管理者が院内で収集された事例報告書を分析し、「院内におけるインシデントの傾向と今後の対策」について研修会を行い、当院の課題と改善に向けての具体的な行動について考えました。

この研修会で学んだことを活かし、今後も当院の理念である「良質で安全な医療の提供」に向けて、職員全員で取り組んでいきたいと思えます。



医療安全管理者 蔵田 麻由巳

## 火災避難訓練、防災研修会を開催しました



2月23日に火災避難訓練、防災研修会を開催しました。火災避難訓練は年2回の実施が義務付けられています。全職員を対象に2班に分けて実施しました。

今回は、愛媛県に1台しか無い起震車を使い、震度7の揺れを体験しました。東日本大震災で起きた震度7という貴重な体験をして、職員は皆、驚いていました。又、研修会においては、大洲消防署の講師の方による、防災の心得について、ビデオの上映や講演を行って頂き、防災・火災に対する対応を改めて認識しました。

又、その後行われた火災避難訓練に於いては、情報伝達・初期消火・避難誘導について実施致しましたが、色々な問題点も有りの確な対応が出来ていませんでした。今後の訓練に生かしたいと思えます。

放射線科 科長 美濃 節雄

## 健康講座にて『病院食の試食会』を開催しました

3月19日に『おいしい病院食の試食会』と題して、試食会を行いました。春をテーマに旬の食材を使い、病院の一般食で特に食物繊維が摂れるメニューを考え、散らし寿司など5品を提供しました。終了後のアンケート集計より、参加された方から「機会があればまた参加したい」とのお声を沢山頂きました。今後とも、地域の方々の健康に役立つ講座が開催できるよう、努めて参ります。当日は足元の悪い中、大勢の方にお越し頂き厚くお申し上げます。



栄養科 東浦 千恵美

## 外来診療医師一覧表

診療科目	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
内科	1診	池本 純*	休診日	大久保啓二*	大久保啓二*	大久保啓二*	大久保啓二*
	2診	山上 隆司		山上 隆司	池本 純*	池本 純*	山上 隆司
	3診	井上 明子		井上 明子	近藤 誠司	山上隆司(第1・3・5)	近藤 誠司
	4診			近藤 誠司		近藤誠司(第2・4)	
外科	1診	森岡 徹	休診日	森岡 徹	森岡 徹		森岡 徹
	2診	満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨	
	3診				武内 成禮	武内 成禮	
整形外科	1診	栗田 英明	休診日	冲永 昌弘	栗田 英明	冲永 昌弘	栗田 英明
	2診						冲永 昌弘
泌尿器科		清水 公治	休診日	清水 公治	清水 公治	清水 公治	清水 公治
脳神経外科	1診(新患)	西原 潤		西原 潤	藤原 聡	山下 大介 未廣(隔週)	藤原 聡
	2診(再診)	藤原 聡	藤原 聡	西原 潤		西原 潤	

※内科の医師一覧は、池本先生が4月30日に退職される為、5月からは医師一覧の一部変更があります。詳細が決まりましたら、受付にて一覧表を配布致しますのでお問い合わせください。

受付時間 午前8時00分～午前11時30分

診療開始時間 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり) ※は、予約診療になっています。

休診日(4～7月) 救急診療のみ……………5月3日(日)  
休診日……………火曜、水曜、5月4日(月)、7月20日(月)

お見舞い面会時間 午後1時00分～午後9時00分

## ◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、市立八幡浜病院(夜)

## 編集後記

1日の仕事が終わって自宅へ帰る頃、真つ暗だった景色も徐々に明るくなってきて、春の訪れを感じる今日この頃です。3月には各職種の国家試験が施行され、当院で受けている臨床実習で私が指導した学生から「無事合格しました」とメールを貰った時には、自分のことのように嬉しく感じました。

4月から新しい職員も増えました。自分が入職した時の気持ち忘れず、地域の皆様に貢献出来るよう向上心を持ってリハビリテーションという仕事に向き合っていきたいと思えます。

発行/医療法人 北斗会 大洲中央病院

編集/広報委員会

寺尾 光司(事務部長・理事) /  
京河 雅史(放射線科) / 伊場 紀子(看護副部長) /  
伊達 明日香(看護部) / 山下 恵里(看護部) /  
福田 修治(リハビリテーション科) /  
大西 修平(リハビリテーション科) /  
松本 奈緒(総務課) / 二宮 祐希(栄養科)